

基礎経済科学研究所 自由大学院

大阪第三学科(金融流通協同組合論ゼミ)からのたより

[第836回ゼミ報告] 2022年5月20日号

国立の大学・研究所などの非常勤研究者が雇い止めに、その数4500人と。そもそも10年で無期転換とする法律を国の機関が主旨を無視するとは・・・

5月11日のゼミは、芦田文夫『資本に対抗する民主主義』I部2章「ロシア革命とレーニン「民主主義」の3節「1917年革命における「民主主義—社会主義」論」、4節「「ネップ」の段階—「市場経済」と民主主義論」を前回に引き続き斎藤さんの報告で行いました。2月革命後は臨時政府とソヴィエトの二重権力状態、レーニンの政治的民主主義での階級闘争推進、パンと土地要求。社会主義への国家資本主義独占、上からの統制管理と下からの民主的参加、経済的次元での変革、重要拠点：銀行・軍需の国有化。1918年戦時共産主義期に工業部門の国有化と食料割り当ては自己批判。世界大戦・内戦で窮乏と脱階級化。市場経済を基礎に自由な取引へ、労働者国家による統制・監督。過渡的段階で国家資本主義から社会主義への到達、管理・経営・統治での能力・文化性の不足。レーニンとグラムシ：民主主義への共同闘争の確認。レーニンの民主主義論：東方と西方で経済民主主義の課題、ネップ期の党・国家機構の集権化、スターリン独裁と国家計画管理と権力闘争、鉄状価格問題でのスターリンとトロツキー・ブハーリン反対、社会的再生産過程での工業品と農産物の乖離、企業・組織の自立性喪失。

討論では、ウクライナの民族問題はロシア革命期にもあり、ジョージア（グルジア）も同様、民族自決権の問題。レーニンと党とは別、建前と現実。憲法制定会議で自由選挙を踏み潰した、ボルシェビキは少数派。4節1の「脱階級化」とは何か。食料税・クローンシュエットの反乱・官僚制批判の無視。鉄状価格：工業製品・労働者賃金で農民から取り上げる。レーニンはグラムシに影響されず。マルクスは先進国革命論、ソ連は唯一の社会主義国、ソ連の存在と中国革命。資本は民主主義を育てるのかどうか。アソシエーション：資本主義・市民社会における自立した個人。資本は民主主義をつぶす。

出席は、小野さん(Zoom)、高島さん、川口さん、斎藤さん(Zoom)、松村さん、竹内さん(Zoom)、山口さんと高田の8名でした。

\* 5月25日（第4週）ゼミも、午後5時半から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 833 6171 3215 パスコード: 252516

\* 5月25日ゼミ：報告は資本論の逐次でなく興味ある論点等を中心に

\*\*\*\*\* ゼミ日程 \*\*\*\*\*

5月25日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

マルクス『資本論』第3巻39章 差額地代の第一形態 報告・高田

6月8日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

芦田文夫『資本に対抗する民主主義』II部 1章・2章 報告・松村さん

6月22日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

マルクス『資本論』第3巻40章 差額地代の第二形態 報告者未定

その後 7/13, 7/27: アイクルの部屋

◇第三学科事務局/高田好章: ytakada@kcn.ne.jp 090-8658-3755

HomePage: <http://ysweb.g.dgdg.jp/ytakada/kisoken/> Pass: kiso